

No.2393 明神平から桧塚ピストン

日時：2013. 12. 1 (日) 曇り時々晴れ

参加：岡本 (L)、鎌田、佐々木 (記)

久しぶりの鎌田さんと共に男3人、雪が予想される明神から桧塚に行ってきました。佐々木は桧

塚初めて、蒲田さんは明神初めてなので興味のある山域である。

榛原集合、岡本車で出発。大又奥の駐車場は5～6台の車(前日から?)、台風で林道通行止めを聞いたが幸い復旧済み。山支度完了し出発。

林道終点の登山口からは、明神谷を詰める。期待した紅葉は落葉が進み、冬への狭間といった季節である。明神の滝は凍結が見られほどで、注意しながらの道と渡渉を繰り返す。

ジグザグ道を登り水場を過ぎると程なくあしび山荘(非公開)の屋根が見へ、雪に覆われた広々とした明神平に着く。ここは一気に樹氷に覆われた山々を取り巻く別世界である。

東屋で一服するも、出てきた風に思わず上着と耳当てを着ける。途中二組のパーティーが早々に下山、ここには2～3人の登山者が見える。

お鉢の底のような広々とした原から、尾根先にある明神岳(1432m)を目指す。右方向には薊岳、後方には水無山/国見山/台高山脈の北端、高見山に連なっている。

明神岳の一带はブナの自然林に覆われ、ツツジと共に春/秋が美しく心をなごませてくれる。

南方向には大台の山々、少し右手の奥には大峰の山脈が黒々と連なる。

青空も出てきて汗ばむ程の登りだが、奥峰周辺から桧塚まではテープはあるものの、積雪期ガスが出た時(ホワイトアウト)の方向感覚は経験がものをいう山域であるように思う。

桧塚で昼食をとりピストンでテープを追いながら明神平へ戻るが、天候回復で朝の樹氷が嘘のように落ちそぼっているとは、まだまだ冬への狭間の季節のようである。



(桧塚奥峰)

岡本リーダー、膝サポーターの具合および下山時間をしきりに気にしながらの道程、予定通りに無事下山できた事に感謝して榛原にて解散。急遽の山行、久しぶりの車山行、ありがとうございました。我々は、反省会後解散。

<参考タイム>

駐車場 9:27—登山口 9:53—明神滝 10:23—10:59 明神平 11:16—明神岳 11:37—判官平 11:58—桧塚奥峰 12:17—12:30 桧塚 12:56—明神岳 13:48—14:09 明神平 14:22—明神滝 14:52—15:14 駐車場 15:36 発